

## 船舶事故等調査報告書

平成23年1月27日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010長第89号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成22年7月17日 10時43分ごろ	
発生場所	長崎県五島市奈留島 <small>なる</small> 船廻湾 <small>ふなまわり</small> 有福島灯台 <small>ありふく</small> から真方位181°5,400m付近 (概位 北緯32°52.2′ 東経128°55.8′)	
事故等調査の経過	平成22年9月14日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 巡視艇 みねかぜ、26トン 船舶番号、船舶所有者等 134986、国土交通省海上保安庁 乗組員等に関する情報 船長、四級海技士（航海） 死傷者等 なし 損傷 右舷推進器翼に曲損等、右舷船首船底に擦過傷	
事故等の経過	本船は、船長ほか4人が乗り組み、奈留島船廻湾において、船首約1.1m、船尾約1.6mの喫水で、停船して小型船の立入検査に着手したところ、船体が潮流に圧流されたことから約1～2ノットの速力で後進中、平成22年7月17日10時43分ごろ、暗岩に底触した。 本船は、自力航行により基地に帰航した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南西、風速 約3m/s 海象：波浪 約0.5m、潮汐 上げ潮の末期	
その他の事項	船長は、GPSに連動している電子海図表示装置のディスプレイで船位を確認するとともに、船首に見張り員2人を配置していた。 船長は、海図及び電子海図で付近の水路状況を確認していたが、本件発生場所付近に暗岩の記載はなかった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、奈留島船廻湾において後進中、海図に記載されていない暗岩が存在し、同暗岩に向けて航行して乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、奈留島船廻湾において後進中、海図に記載されていない暗岩が存在したため、同暗岩に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	